

国立大学法人京都教育大学学長候補者選考基準

令和7年7月8日

国立大学法人京都教育大学
学長選考・監察会議決定

京都教育大学は、京都の長い歴史と伝統、豊かな文化を土壤に、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることをめざす。そして、深い研究を通じた質の高い教育を為すとともに、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。この目的に向けて優れた学校教員を養成し、教育分野で地域社会に役立つ人材を輩出し、我が国の教員の資質向上に貢献する使命を有する。

この使命を果たすため、次期学長には、教学及び経営の最高責任者として、次に掲げる資質・能力を持ち、本学が直面する課題を達成することが求められる。

1. 学長に求められる資質・能力

1. 学内外から信頼を得ることができる高潔な人格と優れた学識を有し、教育・研究活動を重視すること。
2. 本学のミッション（社会的使命）を確実に推進する戦略的な構想力と実行力を有すること。
3. 学内の合意形成を円滑に図るとともに、大学・附属学校園の教職員を奮起させるリーダーシップを発揮することを通じて、組織のガバナンスを強化できること。
4. 大学の財政基盤の強化に努め、効率的な予算の編成・執行を着実に推進する優れた経営力を有すること。
5. 関係諸機関との協力関係を構築する協働力と、国立教員養成大学の存在意義を高める発信力を有すること。

2. 本学が達成すべき課題

1. 高い倫理観と優れた教育実践力を持つ教員を養成するとともに、高度な専門性など現職教員の職能向上に寄与する。
2. 京都府・京都市の教育委員会などと連携・協力し、とりわけ義務教育に関する教員養成機能の中心的役割を担いつつ、地域のニーズを踏まえて現職教員の職能向上支援機能を担う。
3. 教育学部、連合教職大学院および附属学校園での教育・研究活動を通じて、京都の教師教育を牽引する。
4. 厳しい財務状況と、人員削減による業務負担増加の中で、教育・研究・マネジメントの各分野において最大限の成果を上げるよう意欲的な経営を行う。
5. 第4期中期目標・計画にもとづき、諸業務を着実に推進する。

3. 学長選考手続き

令和7年7月11日	学長候補者選考基準の公表 学長選考実施要項の公表
令和7年8月18日～8月29日	推薦受付
令和7年9月1日～9月11日	推薦受付結果の公表
令和7年9月16日～9月30日	所信表明書及び質問に対する回答書受付
令和7年10月2日～10月20日	所信表明書及び回答書の公表 意向投票の公示
令和7年10月21日	意向投票の実施 学長選考・監察会議開催（学長候補者の決定）
令和7年10月22日以降	学長候補者の選考の結果、選考の理由及び過程の公表